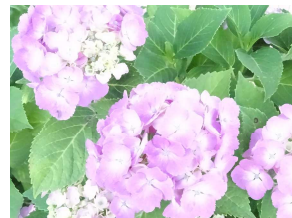


学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



学校西側に咲くあじさい

「太陽の時間」で体力づくり

毎週水曜日の業間20分間は、「太陽の時間」の体力づくりを行っています。内容は、縦割り班による「ふれあい班運動」です。

「ふれあい班運動」では年間を通して様々な運動に親しみ挑戦できるよう、ローテーションが組まれています。「うんてい」「鉄棒・登り棒」「リレー」「竹馬」「ボール投げ」などの運動を、1年生から6年生までの7人の班ごとに行います。5、6年生が中心となって、準備運動やそれぞれの運動、整理運動を進める姿は、頼もしくたくましく見えます。上級生が下級生にやり方を教えたり、励ましたり……身体だけでなく心も育っていると思います。班のみんなで同じ運動に取り組み、がんばることで、運動の楽しさはもちろん仲間意識も味わいながら、高まっていくことでしょう。冬は、持久走練習やなわとび運動も予定しています。



全校集会「挨拶ゲーム」の感想より



- 挨拶をすると、世界中のみんなが明るく笑顔になれます。挨拶を先にすると、聞いた人は続けて言ってくれるからです。集会で挨拶ゲームをしました。1年生から6年生まで一人ずつに挨拶をします。大谷先生の挨拶には勝てません。みんなに気持ちの良い挨拶ができました。挨拶は重要だと思いました。世界を明るくするには、まず挨拶が必要だと分かりました。(4年 U・R)
- ぼくは、挨拶の力について分かりませんでした。でも、校長先生の話聞いて、挨拶は心を動かす大切な力があるのが分かりました。人と人の心をつなぎ、仲良しになる力があるのです。だから、これからは仲良くなりたい子には挨拶をして、仲良くなるチャンスをつくりたいです。また、運動委員なので挨拶を誰とでもして、挨拶名人になれるようにがんばりたいです。(5年 T・O)
- 私は集会で考えたことが2つあります。1つ目は、挨拶が魔法のカギということです。なぜ魔法のカギなのか、挨拶ゲームをやって分かりました。ゲームでは、みんなや先生と挨拶をしました。すると、挨拶をされて気持ちがよくなりました。魔法のカギの意味が分かってきました。2つ目は、挨拶名人です。私は大きな声を出すのが苦手です。だから、1年から6年生の名人を見習いたいです。大谷先生も日頃から声を出しているから、挨拶名人になれるのだと思いました。私は、挨拶をすると、気持ちが明るくなったり、心を開いたりできることを実感しました。これからは、心を開く魔法のカギを活用して、たくさんの人の心を明るく温かくできる挨拶をがんばります。(6年 S・K)

第1回学校運営協議会 開く



5/15（火）の学校運営協議会は、7名の委員、地域学校協働活動推進員1名、事務局1名の計9名の出席でスタート。今年から始まった「学校運営協議会」の説明、役員選出、今年度の学校経営基本方針の説明と承認、意見交換などを行いました。保護者・地域住民のそれぞれの立場での意見が、とても参考になりました。協働活動推進員からは、「子どもは先生や保護者をよく見て、学んでいる。地域・学校・家庭が一体となって子どもと関わり、『地域に信頼され、地域とともにある学校』をつくってほしい。」という話を伺いました。



※学校運営協議会とは……？（詳しくはホームページを御覧ください。）

今までの「学校評議員会」を基盤に、特色ある教育活動をより一層推進するために学校運営に参画する組織です。「地域でどのように子どもたちを育てるのか？」「何を実現していくのか？」という目標やビジョンを、地域（保護者・地域住民）と学校が共有し、一体となって子どもたちを育むことを目指しています。

※地域学校協働推進員とは……？

学校と地域社会をつなぐコーディネーターとして、下野市教育委員会より委嘱されています。地域人材の育成、登下校の見守りなどの協働活動、ボランティア活動などの体験活動をコーディネートし、地域と学校がパートナーとして連携・協働する協力体制をつくります。



第1回 「小中一貫の日」研修会

今年度から、「小中一貫の日」が市内小中学校の中学校区ごとに行われます。南河内中学区では、9年間を見通した教育活動について、義務教育学校設立に向けて現状と課題を共有し、具体的に研究・実践していく予定です。5/9（水）第1回目の研修会が、薬師寺小で開かれました。年間7回の研修会の予定です。全教員が研究会に出席しますので、開催日は「家庭学習の強化の日」として位置づけ、家庭学習の習慣化も目指しています。御協力をお願いします。

5/17（木）2・3年生が「伊澤イチゴ園」で「イチゴ狩り」をさせていただきました。大き



く受け入れていただいた伊澤さんに感謝いたします。2年生は生活科で、3年生は総合の学習で、この経験を生かした学習を進めていきます。

6/1（金）ふれあい班対抗のスポーツ大会を行いました。投げる力をつけるために、低学年



と高学年に分かれてドッジボールを行いました。1年生も2、3年生のボールに当てられないように、泣かずに真剣に逃げます。さすが高学年は迫力あるボールの投げ合いです。1位6班、2位は5班、3位は3班でした。

目を見てはっきりと朝の挨拶ができるようになってきた1年生、朝からアサガオへの水やりを忘れません。入学して2か月、学校のきまりを守って生活しています。挨拶や返事が上手になり、一生懸命に学習している姿がうれしく思います。朝の挨拶がとても上手な1年生U・Mさん、返事が気持ちよい5年生T・Oさん、靴そろえを毎朝実践している3年生U・Kさん。今年の努力点「挨拶・返事・靴そろえの習慣化」が広がっています。

「教育は人なり」を合い言葉に切磋琢磨できる[チーム吉東]に

～学校経営方針の具体的な取り組みから～

今年度も、特に力を入れている「学力向上」に向けた本校の取り組みを紹介いたします。

研究主題 「コミュニケーション能力向上を目指した深い学び合い」
～児童が熱中し、深まる話し合い活動～

各教科	○明確なめあて、ゴールの設定と提示、振り返りの充実
取組	○意欲的に問題解決が図れる課題の設定
日	○児童同士の発言をつなぐ教師の支援
常	○学習形態の工夫（グループ、ペア、全体、異学年など）による学び合い活動の活性化
取	○基本的話型の指導徹底（系統的な積み重ねを図る。）
組	○各教科における研究授業、授業研究会での成果と課題
日	○児童の学びを深める手立てや方法の研究
常	○毎週1回「ことばタイム」を実施（語彙力をつける。）
取	○基本話型を生かし、相手に分かりやすく説明できるような指導支援
組	○朝の会での、1分間スピーチの充実（テーマの工夫、発達段階に応じた話型）
	○書く力の向上（作文、道徳ノートの活用）
	○良好な人間関係の構築

「教師は授業で勝負」。教師一人一人が児童の学力向上のために、毎日学習指導法の充実と改善に努めています。さらに、他の職員も先生方を支えるために、それぞれの担当で子供たちのため・学校のために協力しています。まさに[チーム吉東]を目指して、学力向上のカギは3つ。①子供の学ぶ意欲向上と学習習慣の確立 ②教師の指導力向上③保護者の理解と協力です。御家庭でも、家庭学習の充実のためにお子様への声掛けや確認をお願いします。

特別メニュー「親子丼」おいしいね♡

5/17（木）1年生の保護者を対象に、給食試食会を行いました。保護者12名の御参加、ありがとうございました。食育の説明の後、給食の配膳、会食をしていただきました。アンケートには「全校生と一緒に食事ができて、楽しい雰囲気の中で食べられた。」「小規模校ならではのランチルーム会食は、すばらしい。」などの感想がありました。また、「牛乳パックの底が茶色によごれていた。」という御指摘がありました。明治乳業に問い合わせをしたところ、「茶色の変色はシールする際の熱による焦げで、品質上問題はない。」とのこと。ありがとうございました。



爽やかな汗 親子奉仕作業 (6/2)



朝8時から第1回目の親子奉仕作業を実施しました。保護者では男性25名、女性39名、児童は73名の参加でした。高い参加率、さすが吉東小！大人の作業は手際が良く、子供たちも一緒になって最後まで一生懸命に働き、予定の1時間半でとてもきれいになりました。皆様の御協力に心から感謝いたします。子供たちも整備された環境で、伸び伸びと学習できます。自分たちできれいにした達成感、愛校心にもつながります。



救命救急講習会 (6/2)

2日(土)親子奉仕作業の後に、第一ホールで救命救急講習会を開きました。毎年行っていますが、忘れてしまうものです。今年は保護者13名、教職員10名、合計23名の参加でした。

石橋消防署の方に「心臓マッサージ」や「人工呼吸」の方法、AEDの使い方について実践を交えて教えていただきました。人間は、心臓が止まってから3～4分で脳が死んでしまうそうです。救急車到着までには9分。その時間の差を埋めるために、「心臓マッサージ」やAEDが必要です。「迷ったら心臓マッサージ…強く速く絶え間なく」という熱い言葉が心に残りました。

6/4(月)の業間に、全校生で「いろいろバスケット」を行いました。企画委員による計画、準備、説明でふれあい班ごとに遊ぶことができました。(毎年、4つの委員会の発表や活躍の場を設けて、表現力の向上を図っています。)椅子の代わりに「防災頭巾」を使うという、子供のアイデアに関心。一人一人が主役になり、考えて指示を出すおもしろさを味わうことができました。



☆☆ 特別支援教育コーナーNo2 「台や眼鏡を使うと…」☆☆

『特別支援教育』は、学習や生活に難しさを感じている児童に対して、その子の特徴に合った支援をすることで、より楽しく学習したり生活したりできるようになることを目指しています。

「集中力がなく気が散りやすい」「1対1では指示が通るのに集団ではよく分からない。」「場の雰囲気を読めない」「整理整頓が苦手な忘れ物が多い。」「不器用で動きがぎこちない」など、『がんばっているのにうまくいかないな』そんな思いをしている児童に対して適切な支援や手立てを考えます。

手の届かない高いところから物を取るときには台を使い、視力が低下した人は眼鏡をかけます。視力が低下した人は、裸眼で見ようと努力するよりも、眼鏡をかけることで見えにくさが改善され、それと同時にできることが増えていくでしょう。「努力してもうまくいかないこと」に対して、ただがむしゃらに「がんばる」だけでは解決しにくい場合があります。その子の困難さに合った適切な支援や手立てを行うことで、今まで以上の成長を期待できるのです。

吉田東小学校では、お子さんにとって何が必要か、保護者の皆様と相談させていただきながら、学校全体で特別支援教育を進めています。御家庭でも、何かお気づきの点がありましたら、気軽に御連絡ください。

☆☆ 受賞 おめでとうございます ☆☆

・下都賀ジュニア陸上競技大会 男子 1000m 1位 5年 海老原気吹 さん

☆☆ お知らせ ☆☆

吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。学校行事や各年の活動も随時配信しております。御意見、御感想などありましたら御連絡ください。QRコードからもアクセスできます。



